

本町では、国のGIGAスクール構想に基づくタブレット端末のほか、家庭用タブレット端末を貸与することにより、全児童生徒1人2台端末を整備しました。

新型コロナウイルス感染症により先行きが不透明な中、学びの継続・保障や健康状態の確認など、子どもたちの安心・安全の確保のため、タブレット端末の活用について引き続き取り組んでいきます。

また、児童生徒の主体性を生かした自発的な学習スタイルの実現を図るため、ICT機器を活用し、時代に対応した個人の資質能力の育成に努めます。

次に、しかべ幼稚園の建設替えについては、既に民営の公私連携幼保連携型こども園として整備することを決定しており、今後、建設候補地の用地取得、公私連携法人候補者の選定などを実施し、令和7年4月

の供用開始を目指して取り組んでいきます。

また、町民がいつでも学習やスポーツに親しめる環境づくりのため、それらの拠点施設である中央公民館、総合体育館等については、経費節減に努めながらも安心・安全に利用できるように、一層の施設の充実と管理運営に努め、社会教育及びスポーツの向上を図ります。

いずれにしましても、第2期鹿部町教育大綱に掲げる基本目標「新しい時代に生きる心身ともにたくましい人の育成」の実現に向けて、教育委員会との連携のもと、施策の推進に努めていきます。

## デジタル推進

次に、デジタル推進について申し上げます。

令和3年5月、新庁舎での執務スタートにあわせ

「鹿部町デジタルファースト」を道内で初めて宣言し、多様化する時代のニーズに対応するため、デジタル技術を活用し生活の利便性向上や効率的な行政運営を目指し、誰ひとり取り残す事のないような取組を行っています。

令和3年度では、教育に係るICT化のほか、テレワークの試行実施や庁舎内におけるWEB会議・ペーパーレス化の推進、新型コロナウイルスワクチン接種に係るWEB予約や町民応援券のアンケート回答をWEBで実施しました。

さらには、SNSを活用した新たな観光情報の発信も実施しています。

今後は、新型コロナウイルス感染症による働き方などにも変化が生じていますので、テレワークやペーパーレス等を継続して実施するほか、住民サービスの向上を図るためWEBによ

る公共施設の予約や役場窓口の電子申請化を実施し、利便性の向上を目指します。

## 国民健康保険事業 勘定特別会計

次に、国民健康保険事業について申し上げます。

国民健康保険事業においては、北海道及び国保連合会と連携を密にし、事業を円滑に進めていく一方で、被保険者の高齢化に伴い、医療費の増加が今後見込まれています。

被保険者の健康増進を図るため、各種計画や支援事業を活用しつつ、特定健診事業の受診率向上を目指すとともに、高齢者の保健事業及び介護予防事業と併せて一体的に事業を押し進めていきます。

また、保険税の賦課徴収においては、引き続き適正に管理対応し、滞納整理や制度周知を進めていきます。

## 介護保険事業 特別会計

次に、介護保険事業について申し上げます。

高齢化が急速に進む中、日常生活の支援が必要な高齢者や認知症高齢者が年々増加しています。そのため、「第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」に基づき、地域包括支援センターを中心に医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体に提供される「地域包括ケアシステム」を推進していきます。

また、新型コロナウイルス感染症により、外出の機会が減少し、体力の低下や認知症が進行する高齢者の増加が懸念されることから、介護予防の取組についての啓発や感染症対策を図りながら介護予防事業を継続するとともに、認知症初期集中支援チームによる認知症の早期発見や予防活動に努